

第2回北海道ブロック協議会
第2回北海道代協理事会
議事録

日時：平成29年7月21日（金）13:00～17:00

場所：センチュリーロイヤルホテル 3階「エレガンス」

出席者

日本代協理事	丸山 邦夫		理事	細川 直美	札幌	理事	山内 正明	釧路
会長	佐々木 雅之	札幌	理事	土井 良治	室蘭	理事	加茂 寛介	釧路
副会長	大高 喜弘	釧路	理事	根布 匡章	小樽	理事	澤田 憲孝	帯広
副会長	大橋 敏	函館	理事	本田 秀一	苫小牧	理事	深井 弘美	帯広
理事	白戸 俊成	札幌	理事	佐藤 聖	苫小牧	監事	本村 宏文	千歳
理事	山口 史朗	札幌	理事	小笠原 信夫	千歳	監事	富田 明久	苫小牧
理事	酒井 正衛	札幌	理事	田代 誠治郎	函館	政治連盟	赤山 登	札幌
理事	山崎 善仁	札幌	理事	濱中 公也	函館	オブザーバー	野村 勇	帯広
理事	嶋田 拓馬	札幌	理事	木村 勇人	函館	事務局	藤田 和代	
理事	本谷 吉伸	札幌	理事	上畑 雅則	釧路			

司会 佐々木会長（専務理事欠席の為）

1. 開会の辞 佐々木会長

2. 北海道代協会長挨拶 佐々木会長

総会のお礼があった。また九州の雨災害について一刻も早い復旧を念願している旨の挨拶があった。日本代協の岡部会長が6年の任期を終え退任し後任に東京代協の金子氏が新会長に就任した報告があった。北海道代協執行部は少ない人数で行っているが各支部長に更なる協力依頼と、支部にも訪問したいとの挨拶があった。

3. 日本代協理事挨拶 丸山理事

日本全国各地で水による自然災害が発生している。復旧復興を祈念しています。また日頃からの代協活動にご尽力いただいていることに感謝します。日本代協から提供している情報や様々な取組を代理店経営に活かしてほしい。本日も活発なご討議を期待しているとの挨拶があった。

4. 募集規範朗読 根布小樽支部長

5. 議長選出 大橋副会長が議長に選出された。

6. 出席理事数の確認 理事数33名 出席理事数22名
定款により理事会の成立が宣言された。

7. 議事録署名人

定款により、佐々木会長 本村監事 富田監事が指名された。

8. 議事

〔Ⅰ〕承認事項

- (1) 平成 29 年 4 月 21 日開催 第 1 回北海道ブロック協議会・第 1 回北海道代協理事会議事録の承認
拍手をもって承認された。
- (2) 平成 29 年 6 月 2 日開催 通常総会議事録の承認
拍手をもって承認された。

〔Ⅱ〕報告事項

- (1) 日本代協通常総会報告 丸山日本代協理事
別紙参照。また日本代協書庫にあるので確認してほしい。
金融庁保険課岡田課長の挨拶を別紙にて報告された
- (2) 日本代協理事会報告 丸山日本代協理事
理事会において北海道ブロックの進捗状況の報告をしているので確認してほしい。
国民年金基金は平成 31 年 4 月に全国基金に合流することが決定している。
円滑な合流のため引続き組織委員のみならず募集の取組に尽力してほしい。
厚生年金保険法等に基づく届出の適正化の徹底について説明があった。
日本代協岡部会長が名誉会長に就任し金子副会長が会長に就任した旨の報告があった。荻野名誉会長は顧問に就任された旨の報告があった。
岡部名誉会長からのラストメッセージの披露があった。以下の通り
 - ① プロは情報に敏感であれ。論理的であれ。
 - ② 本質を見極める目を養え。目利きの力をつけろ。
 - ③ 固定概念、既成概念にとらわれず枠を取り払え金子新会長のメッセージは議事録を参照して欲しい。
PIAS 米国研修資料の紹介があった。
都道府県代協の一般会員・賛助会員規定のあり方・ひな型（別紙）の紹介
- (3) 全国会長懇談会報告 佐々木会長
議案書 4P～20P 参照 代協アピールの重要性の説明があった。
金融庁岡田課長の話として金融庁検査に選ばれる特徴として、保険募集事故の多い代理店。苦情が多い代理店。お客様本位の代理店は口コミで顧客が増えるのではないかとアドバイスされた。100 店に入ったヒアリングについて、代協会員の代理店は店主・従業員が一体となって現場で働いていることに感銘した。また保険のみならず困ったときには代理店に相談している実情良く分かった。
ガイドラインは出さないが、日本代協として好取組事例は全国で紹介すること。
- (4) 日本代協・北海道代協各委員会報告

- ① 組織委員会 細川委員長
事業計画については別紙。北海道代協報告は議案書 21P から
旭川支部の活躍が際立つ。目標まであと 27 店。モーターチャネル。保険会社
等を中心にチームプレイで目標達成したい。
- ② 教育委員会 酒井委員長
議案書 25P から コミュニケーション力向上研修の導入を検討している。
9 月 8 日にコンサルティングコースセミナーを実施する。
トータルプランナー更新手続きの周知・督促について今年度は
1, 4, 7, 10, 13 期が対象である。早めの受講を推進したい。理事会メ
ンバーからの声掛けをお願いしたい。
2018 年度コンサルティングコースの受講目標数については前年度と同数とし
たい。
北海道代協の目標については委員会で設定したので討議願いたい。
- ③ CSR・広報委員会 嶋田委員長
議案書 30P から参照
被災代理店支援策の検討が開始された。ぼうさい探検隊の募集が始まっている。
子ども 110 番の保険代理店が札幌 18、釧路 1 代理店、函館も準備中
グリーン基金も予定されている。
みなさまの保険情報推進。PR 企画選考は共同広告社に決定。
北海道代協の広告については、昨年同様「HO」で実施する。
- ④ 企画環境委員会 濱中委員長
議案書 41P から 別紙資料もあり
募集環境の整備の具体的な取り組みのなかで、疑義事案のデータベース化を
行い対応策の標準化を図る。
北海道代協については、47P 参照
地域ディーラーに保険募集に関する件の依頼文の反応について紹介があった。
- ⑤ ビジョン委員会 佐々木会長（伊藤専務理事代理）
議事録 48P から参照
- ⑥ 事業委員会 本谷委員長
議事録 51P から参照
DRP 活動が主軸である。JCM 収入は支部へ。パソナ社との提携廃止。
ALSOK 導入により災害時の火事場泥棒が防げたとの報告がある。
代理店事務所の警備契約が増えている。

(5) 各支部活動報告と予定

議案書 57P から参照

- ① 札幌支部 白戸支部長
② 室蘭支部 土井支部長
③ 旭川支部 欠席のため議長より議案書報告とのこと
④ 小樽支部 根部支部長
7 月の幹事会出席者は 5 名とのこと
⑤ 苫小牧支部 本田支部長

- ⑥ 千歳支部 小笠原支部長
- ⑦ 函館支部 田代支部長
9月15日に函館支部70周年記念式典・記念講演・祝賀会を開催する。
多くの方に参加をしてほしい。
- ⑧ 釧路支部 上畑支部長
8月5日に今年も釧路港まつり舟漕ぎ大会に参加し(5回目)地震保険普及
キャンペーンを行う
- ⑨ 帯広支部 澤田支部長
7月14日幹事会 支部例会として保険会社6社を招いて情報交換をした
市民セミナーを11月に予定している。

〔Ⅲ〕 審議事項

- (1) 会員増強目標について 3月末目標
札幌 209、室蘭 24、旭川 114、小樽 18、苫小牧 34、千歳 19、函館 100、
釧路 100、帯広 52、日本代協目標は 660、北海道代協努力目標 670
拍手をもって可決された。
- (2) 国民年金基金について 3月末目標 4件
拍手をもって可決された。
- (3) コンサルティングコース受講目標について
北海道代協目標 40名について
拍手をもって可決された。
支部別目標数について
札幌 13、室蘭 1、旭川 7、小樽 2、苫小牧 3、千歳 1、函館 6、釧路 6、
帯広 3、北海道代協自主努力目標として拍手をもって可決された。
- (4) 人材育成研修会について 大高副会長
議案書 61P 参照
9月8日までに参加者の報告。もう1名の講師については人材育成研修会実
行委員会に一任
拍手をもって可決された。
- (5) 日本代協コンベンションの参加について 佐々木会長
議案書 64P 参照
参加補助 7,000円について及び参加希望締切りは9月8日について
拍手をもって可決された。
- (6) 会費規則の細部について 佐々木会長
議案書 65P と別紙参照
以下の3項目について本日の理事会で意見交換をしたうえで、各支部
に持ち帰り次回の理事会にて決定したい旨の議案趣旨が説明された。
 - 1. 入会金の扱いについて
執行部意見として、北海道代協から代協バッチと代協名刺台紙を新会員
に贈りたい。
主な意見、バッチは良いが名刺台紙は使わないのではないかと。

支部から贈るのでなく北海道代協から贈ると手間が省けるので良い。
新会員向けのスターターキット（代協が分かる）を贈る。
スターターキットは支部から贈りたい。

2. 中途退会の会費の扱いについて

主な意見、退会時は返金しない。会費徴収との関連はどう考えるのか。
年会費なので必ず徴収する。廃業、死亡時はどうするか。

3. 年度中途での会費の扱いについて

主な意見、支部活動費がマイナスになるのは困る。入会時期により北海道代協分を調整したほうが良い。

上記の意見交換後、9月8日までに各支部で話し合い各支部案を提示してもら
う。その上で、次回理事会で決定したい旨が示され、拍手をもって可決された。

〔IV〕 その他

議長より、今回の理事会に旭川支部の理事全員が欠席していることで、議事進
行上支障がある。各委員会にも欠席しており、委員会活動にも支障がある。旭
川支部会員に情報が伝わらないのではと懸念している。審議事項ではないが意
見交換を求めた。出席者がそれぞれ感想、対応策等について意見交換を行った。

9. 監事講評 富田監事

お疲れ様でした。議長の采配で自由闊達な意見が出された。
有意義なブロック協議会・理事会であった。

10. 政治連盟報告 赤山委員

議案書 66P 参照いただきたい。

11. 閉会の辞 大高副会長

上記議事録を作成し、会長並びに議事録署名人が記名押印する。

平成 29 年 7 月 21 日

会長 佐々木 雅之

議事録署名人 本村 宏文

議事録署名人 富田 明久